

お子さんが小学校に上がるまでに家を建てたいと考えていらっしゃった A さん。
人間として信頼できる建築士と、単価も割引率もオープンな見積もりを出してくれた施工会社。
ちょっと行き違いそうになった時には、アーキ・プロジェクトに相談する。
そうしてスムーズに進めることが出来たという家造りについて、経緯をお聞かせ頂きました。

まず、アーキ・プロジェクトをご存知になられたきっかけを教えてください。

当時、子供が小学校に上がる前には家を建てたいという希望がありまして。
住宅展示場に行ったり、インターネットで色々見たり。

そんな時に、四国新聞の『オアシス』で、住まいの結婚相談所的なところがあることを知りました。
そういう結婚相談所的なことをしているので、「興味がある方は、お問い合わせ下さい」というような感じ。

それで、電話をしてみたら、「勉強会のようなものがありますよ」と聞いて、その勉強会に参加しました。

その時の勉強会はどのような内容だったのですか？

テレビで、住まいの番組に出ている渡辺篤さんの講演だったと思うんですけど、その時に、実際の事例の話もありまして、施工納期とかを色々工夫しながら、居心地のいい家を色々造ってるという事は分かりましたね。

その時にはアーキさんとは何も話さなかったんですが、土地を探していたら、いい土地が見つかった。

次の家を建てる段階でどうしようかとうことで、直接アーキさんの事務所に行きました。

一度話を伺うだけであれば、特に何もデメリットも無いので。
「一度お話は伺ってみようかな」という感じでしたね。

最初に事務所に行かれて、どのようなお話をされたのですか？

住まいの結婚相談所の流れを教えていただいたのがひとつと、どんな家が希望かという話をしました。

流れで言えば、まず、建築士を紹介してもらって、次に施工会社さん。
それもアーキさんに登録してる方を紹介してもらおうという流れについて聞きました。

当然、建築士は何名も登録されていますので、その中でうちの希望なり夫婦なりに合った建築士を紹介しますという感じ。

「その建築士さんが嫌だったら、また次の方紹介します」みたいな形で。

それはまさしく、お見合い的な形ですよ。

家の希望で言えば、出来るだけ一般的なハウスメーカーとかにあるような、画一的な家ではなくて、こちらが希望してるような感じの間取りとか家を造りたい。

それと、やはりどうしてもその手抜き工事が心配でしたので、やはりきちんと信頼出来るところに頼みたいというお話をしました。

色々資料を見たりとか、家の雑誌を見たりして「画一的な家は嫌だなあ」というような感じがありましたし、夫婦で共通するんですけど、「家相を取り入れたい」というがありましたから、「やっぱりハウスメーカーでは難しいのかな？」と。

なるほど。その後で建築士を紹介されたのですか？

はい。

その後で、「じゃあこの日に、心当たりのある建築士さんをご紹介します」という事で、日にちを変えて、建築士の方に一度お会いしました。

お会いしたのは1名で、こちらの希望を聞いていただいて、その建築さんの過去の事例や考え方のものを聞きましたね。

建築士さんでも色々考え方がありますから。

基本的に木にこだわるとか、何かこだわったような家を建てるとか。

そういう建築さんによっても色々特徴がありますから、考え方を聞きに行っただけです。

そうすると、人間性というか、いわゆるフィーリングの世界なんですけど、人間として信頼できるというところが感じられた。

結構いい感じだったので、「その方をお願いします」ということになりました

結局、家自体は打ち合わせの中で色々相談していけば、「ある程度はこちらの希望に合ったものは造っていけるんだらうな」という気がしていたんです。

でも例えば、こちらから何かを言いやすいとか、言った事をきちんと誠実に受け止めて設計の中に反映してくれるとかいうところはきちんとしてもらわないと。

建築士の作品を作られても困りますんで(笑)

建築士の方が決まって、それからの住まいづくりは、どういう風に進んでいったのですか？

その建築士の方と直接お話しして、こちらの希望を、「ある程度こういう家にしたい」という内容を手渡しして。

その後、建築士の方に叩き台という事で、家の案を持ってきてもらいました。

それを「やっぱりここはこうした方がいい」とか「こんな方がいい」とかで、色々調整して、最終的な設計という形にしていったんです。

なるほど。設計が固まった後はどのように進んだのですか？

今度はその設計を基に施工会社さんを紹介して頂きました。

こちらの希望している工期が、そんなに余裕のあるものではなかったので、それに応えてもらえるような施工会社さんということで、アーキさんから2社、紹介して頂きました。

それぞれの会社に建築士の方から、見積りを依頼して、見積りを出してもらって。それで検討した中で、「じゃ、こちらの会社をお願いします」という事で決めました。

2社のうちの1社を選んだ理由を教えてくださいませんか？

お願いすることに決めた施工会社さんの見積りは、その中身自体が非常にオープンな感じだったんです。

普通の買い物とかでもそうですけど、何%安いと言われても、結局、原価が分からない中ではどこまで得したとか分からない。

そのあたりが結構きちんと、単価も割引率もオープンな形で見積もりを作っていたのがこちらの会社に決めた理由です。

家が建っていく間は頻繁に打ち合わせをされていたのでしょうか？

そうですね、例えば、色の話とか。壁色とか、実際壁紙貼るにしても、その柄とか、そんな話もしていました。

工期も外構工事を除いて6ヶ月あるかないかぐらいでしたから。最終的な設計図もね、結構急いでもらって、確か2ヶ月ぐらいで出たと思います。普段、半年ぐらい掛かるって言われたんですけど、「ちょっとそれだと間に合わん」という事でがんばってもらって。年回りも気にしていたので、工期は短くなりましたね。

なるほど。最終的に建った家についてはどのようにお考えですか？

あの、非常に気に入ってます。

子供の荷物とか、結構沢山荷物があるんですが、そういうのがきちんと片付くように収納も多く取りましたし。

あとはやっぱり、子供とか、みんなが集まる場所がある。大体、通常の建売りだったら、玄関入ってすぐにのところに廊下と階段がある。そういう造りだったら子供とか自分の部屋に閉じこもっちゃうので、階段をずっと奥の方にずらしてもらってるんです。そうすることで、リビングにみんなが集まりやすくなっていたり。

窓を広めに取りてもらったので、家の中が明るかったり。
もう希望の通りですね。

その家が建っていく中で、アーキさんというのはどんな存在だったのでしょうか？

なかなか自分では、「建築士を探して、施工会社を探してというのは難しかったから、きっかけ作りをしてもらった感じですよ。
アーキさんがいなかったら自分で探さないといけませんので。

あと今回は現場での施工管理を建築士さんがしてくれましたけど、これもアーキさんからの提案でした。

やっぱり平日は仕事をしてるので、なかなか現場の実際の作業は管理出来ない。
なかなか凝った建物なんでやっぱり心配というか、「手抜きをしてるのか？してないのか？」というのは管理も出来ないし、素人目から見て分からない。

そういう心配があったときに、アーキさんから「建築士さんが、そういう部分もケアしてもらえば安心ですよ。」という事で、お話を頂いた。そういう部分でも1つ安心できました。

あとは施工会社さんとのやり取りで、ちょっと行き違いそうな時に、相談に乗ってもらったりということもありましたね。

例えば、こちらの要望を聞いて頂いて、施工会社さんに「こういう事だよ」って伝えてくださったりとか。

そういったところで話がスムーズに進んだ部分もありました。

なるほど。家に関して言えば、他にも希望が叶った部分はあるのですか？

壁とかドアとかを「白色にしてください」と言っていました。
だからペンキとか何回も塗って、大変だったみたいなんですけど。
でも、ほとんど家全体が白っぽい感じ。

これも希望の通りです。

家相も、間取りとか設計士さんは大変だったと思うんですけど、大体基本的なところはクリアしてもらって。

うちは結構、色々と要望が多かったので、建築士さんも苦労したみたいですけど(笑)

例えば、ポストも、通常だと家の外側、玄関前にあるじゃないですか。

でも、うちの場合は、家の中からポストの中身が取れるようになっているんです。

だから、新聞とか、わざわざ外に行かなくても取れたり。

使い勝手はいいですね。

なるほど。本日は貴重なお話をありがとうございました。